

平成29年第9回（定例）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成29年5月25日午後1時30分

場所

高砂市役所南庁舎4階研修室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

大西教育部長、永安教育推進室長、瀧野学校教育室長、
阿部教育推進室生涯学習課長、赤松学校教育室学校教育課長、
横道学校教育室中央公民館長、北野学校教育室学務課長、
木村こども未来部子育て支援室長、藤田子育て支援室幼児保育課長、
川西子育て支援室幼児保育課副課長

本日の会議に付した事件

議案

- 1 史跡「石の宝殿及び竜山石採掘遺跡」整備委員会の設置について
- 2 高砂市立学校給食調理（運搬）業務委託に係る契約候補者選定委員会設置要綱について
- 3 高砂市立米田西小学校及び阿弥陀小学校給食調理業務委託に係る契約候補者選定委員会委員の委嘱について
- 4 平成29年度高砂市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について
- 5 平成29年度高砂市特別支援教育専門家チーム委員会委員の委嘱について
- 6 平成29年度学校評議員の委嘱について
- 7 平成29年度高砂市「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について
- 8 平成30年度使用教科用図書高砂市選定委員会会員及び平成30年度使用教科用図書加印地区共同調査員の委嘱について【非公開】

協議事項

- 1 高砂市立幼保連携型認定こども園平成29年度の教育・保育課程に関する意見聴取について

報告事項

- 1 高砂市立図書館名誉館長について
- 2 部活動中の事故の状況について
- 3 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について

その他

- 1 6月行事予定について

議 事 協議事項 1 高砂市立幼保連携型認定こども園平成 29 年度の教育・保育課程に
関する意見聴取について

- 事務局 (協議事項 1 について説明)
- 教育長 何か指導計画についてご意見、ご質問はありますか。
全部を見てもらうのは大変だと思うので、こども園の教育・保育課程の中で
ポイントがあれば、教えてください。
- 事務局 ほぼ高砂市の就学前教育・保育の計画というのに基づいていますので、どの
園も同じようにゼロ歳から 5 歳までであると思うんですが、特徴としては、各
園の行事とか地域性がそれぞれ違うことです。
- 委員 A 幼稚園で教育の問題の 1 つで運動があると思うんですが、最近気になったこ
とで、小学校での運動、例えばマット運動を 1 つ見たら、意外とこども園の
ほうがすごくできる子がいっぱいいて、どんどん進んだ運動をやっている。
それが、小学校へ入ると、小学校での運動量というかテクニックが、こども
園のほうがどんどんさせている。その辺の連携は、こども園と小学校とどん
なふうに連絡をとっていますか。
- 事務局 それぞれの発達の差もありますので、小学校の体育とはまた違うと思うん
ですが、遊びの中で、例えばでんぐり返りにしても、幼稚園だと虫とかに例え
て、ダンゴムシみたいに回ろうとか、そういうことで回ったりとかするので。
例えば飛ぶなら、カエルさんで飛ぶとかウサギさんで飛ぶとか、そういうこ
とで、遊びの中で取り入れています。
- 委員 A 遊びの領域の中で、その子の能力に合ったことをさせているわけで、体育と
しての一貫した運動能力を高めていく、技量を高めていこうということに対
してのつながりは持っていないということですね。
- 事務局 それが結果的に技量につながると思うんですが、挑戦する気持ちとか、意
欲とか、そういうことを養っていくというのもあって、運動教室とかに行っ
ている子どもだと、連続逆上がりができたりとかしますので、それを見たら、
僕もやってみたいなという気持ちになって、挑戦する子どもも増えていきま
すので、それに応じてやっています。
- 教育長 小学校はどうですか。幼稚園でやっている運動遊びを見ている様子と、小学
校へ行って体育として、体育も運動遊びありますけれども、保育園、幼稚園、
こども園の活動のほうが生き生きと、ある意味高度な動きをしているように
も見えるというお話ですが。
- 事務局 小学校の体育は、あくまでも学習指導要領にのっとってやっていくというこ
とが基本になっています。学年の発達段階等を見ながら、できる子に対して
は、ちょっと高度な課題を与えたり、最低これはできるようになろうという

部分と、もうちょっとこれをやってみようというところで、小学校のほうも実践しています。ジョイントカリキュラムの分で共通理解しながら進めています。

○教育長 例え給食の用意なんかでも、結構5歳児でやっているのに、1年生になったら、小学校では一番下の学年で、まだまだという意識があって、その意識改革が、小学校にも必要かなという気はします。だからこそ、連携を強化していくのも大切なことだと思います。

○委員A 能力のある子に、どこまで体育の中でも個別の指導をしていけるかどうか。その子に合ったカリキュラムをプラスアルファできるようなことを考えてほしい。

○委員B 努力目標の3つ目に、「自然に触れ、動植物とのふれあいを通して、命の大切さを知らせる」、命の大切さを知らせる、大事なことですが、植物との触れ合いはあると思いますが、動物との触れ合いが、以前と比べるとアレルギーの問題とかいろんなことで、随分減っている気がするんですけど、どうですか。

○事務局 この動物というのは、ウサギとか鳥とかいう動物とはまた違って、小動物と呼んでいるんですが、ザリガニとかカエルとかバッタとかダンゴムシとか、そういった小動物との触れ合いを通して、命の大切さをということにつながっていると思います。

○委員C 授業見学というのがありますね、小学校の。これは、子どもたちが小学校に見に行くということですか。

○事務局 はい。

○委員C 子どもたちもちろん、小学校の先生方も、ちょくちょく見に行っていたらどうかと思います。例えば幼稚園籍の子と保育園籍の子と、運動1つにしても、時間が保育園籍は長いですから、じっくりと時間をかけてできたりするので、ちょっと違ったりすると思います。せっかくジョイントカリキュラムでしているので、こども園とか幼稚園でもまた違うと思いますし、園の行事などに行くと、校長先生とかは来られているんですが、担任を持つ先生方はなかなか見に来られないと思います。だから、ふだんでも様子を見てもらって、意外と5歳児ってしっかりしているので、園を背負っているような責任感を持って、下の面倒を見ていますし、そういうプライドも上手に育ててもらえたらどうかと思う。

○教育長 ほかにご意見はありますか。なければ次に行きます。

議 事 議案第1号 史跡「石の宝殿及び竜山石採掘遺跡」整備委員会の設置について

○事務局 (議案第1号について説明)

○委員D これは、石の宝殿に係る遺跡の整備だと思うが、この中で石の宝殿に関

する学識経験者の方はどなたですか。

○事務局 考古博物館の館長でもあります和田先生が考古学の専門ということで、一番お詳しいかと思えます。それから、歴史学専門としまして、金沢城調査研究所名誉所長の北垣さん、この方は石に関する専門家、金沢城の調査研究所ということですので、例えば城の石垣ですとか、石造物の専門家ということで入っていただいています。

○教育長 ほかにご意見ありますか。なければ、議案1は承認します。

議 事 議案第2号 高砂市立学校給食調理（運搬）業務委託に係る契約候補者選定委員会設置要綱について

○事務局 （議案第2号について説明）

○教育長 何かご意見ありますか。ないようですので、議案の2も承認します。

議 事 議案第3号 高砂市立米田西小学校及び阿弥陀小学校給食調理業務委託に係る契約候補者選定委員会委員の委嘱について

○事務局 （議案第3号について説明）

○教育長 何かご質問、ご意見ありますか。なければ議案の3も承認します。

議 事 議案第4号 平成29年度高砂市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

○事務局 （議案第4号について説明）

○教育長 何かご意見ありますか。なければ、議案の4も承認します。

議 事 議案第5号 平成29年度高砂市特別支援教育専門家チーム委員会委員の委嘱について

○事務局 （議案第5号について説明）

○教育長 何かご質問ありますか。

医学、心理の部分の先生方の相談というのが結構あるように思うんですが、教育の分野の6名の委員の活動は、結構あるんですか。

○事務局 学校からの要請とか、研修等で、専門的な分野から、現場が求めている課題に対して適切にご指導とかご助言をいただいています。

○委員D 支援を受けたい生徒がいるとして、それは、親からそういう要望が出るものなのか、それとも、先生のほうからなのか、どちらのウエートが高いのか。

○委員A どちらからもあると思います。学校、幼稚園、こども園からもあるし、親が

自分の子どもを見ていてどうかということ。NPOがフォローしているところもあるし、いろんなケースがあります。お互い連携し合って、情報を共有していく形で対応してほしい。

○委員B 専門家チームに頼むまでにいろいろ保護者と担任とかが学校現場でやっているが、これをお願いすると、教育の場面だけでなく、心理学の面、医学の面、いろんな面から1人の子どもを見ていただいて、根拠のあるお話をしていただくので、すごく教師も、保護者も理解できます。安心して、次のステップ、これからどういうふうに子どもに接するかがわかってきて、1つ前に進めるような感じがします。そういう意味で、非常に効果的だと思います。

○委員D 3方向で多角的に見ていくと、真の姿が見えやすくなりますね。1方向だったら、その考えに固執して、偏った考えになるので、これはいいですね。

○教育長 ほかにご意見ありますか。ないようですので、議案の5も承認します。

議 事 議案第6号 平成29年度学校評議員の委嘱について

○事務局 (議案第6号について説明)

○委員A ちょっと関係ないんですけど、オープンスクールとか、授業参観で、評議員の方々が、非常に高齢の方もおられますね。その方が学校に訪問されたときに、大体3時間ぐらいのオープンスクールとか、すごくきついですよね。学校の中で高齢者、あるいは障害者が来たときに、オープンスクールの対応としての何かしているかどうか。長時間授業参観するのに、座るところもないですよね。その辺の配慮は、今後どんなふうにされる予定なのか、何か検討されていますか。

○事務局 特にこういうことをしているというのは聞いていませんが、これからそういう配慮は考えていくべき課題であると認識しています。また、学校のほうにもそのような見解は、伝えていきたいと考えています。

○教育長 今いただいたご意見はまた学校のほうにも伝えて、ちょっと工夫をするということも考えてもらう方向で、お願いします。
ほかに何かご意見はありますか。なければ承認します。

議 事 議案第7号 平成29年度高砂市「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について

○事務局 (議案第7号について説明)

○教育長 何かご質問、ご意見はありますか。

このトライやるは何年目になりますか。 ちょうどこの要綱ができた平成10年、出発してから、19年ですね。

- 委員A 中学校区によって、すごくばらつきがありますね。毎年のようにずっと受け
てくれるところと、業績によって受けたり受けなかったりするところがあつ
たり、先生方もお願いするのは大変な努力をされているのは十分わかるんで
すけど、業種のばらつきもあると思うのと、最初の目的そのものとか、認識
が違うところがある。職業としての訓練的なものをするのか、社会人になる
ためするのか、それとも、文化的なものも含めてするのかどうか、会社が悩
む。それをよしとして、文化的な活動も可かなということにはしているけど、
ほんとうにそうなのかどうか。
- 教育長 本来は職業的なものだけではなくて、広い意味で、人間としての生き方を考
える機会、仕事の部分でもあるし、みんなと一緒に生きていく、仕事ができ
ていく部分と、自分が1人の人間として、例えば趣味を生かして、それを楽
しみながらよりよく生きていくというのも含めてですから、料理とか、お花
とか、そういう経験もする機会もあると捉えていましたが、どうですか。
- 委員B そうですね、最初から項目としてそういう分野も、文化面の、園芸みたいな
ことを含めて、項目の中に、事業所の一覧の項目の中にあるんですが、希望
する生徒は少なかったですね。だんだん先細りみたいな形になったり、年度
によって、そこに集中したりしてます。ただ、18年もたって、最初の目的意
識とはだんだん違ってきているところもありますよね。ですから、先輩が何
人もいて、お兄ちゃん、お姉ちゃんから、食事がおいしいとか、早く終わる
とか、そんなところで希望する子どもたちがいるのもまた現実です。
- 教育長 長年、委員をしておられる方の経験も生かしながら、「トライやる」がよい形
で推進できるようにお願いします。ご意見なければ、議案の7も承認します。
議案の8は、教科書採択における公正確保という意味で、非公開とさせてい
ただきたいのですが、よろしいですか。
それでは、関係する方だけ残っていただいて、あの方々は退室してください。

議 事 議案第8号 平成30年度使用教科用図書高砂市選定委員会会員及び平成30年
度使用教科用図書加印地区共同調査員の委嘱について【非公開】

(非公開のため別途会議録作成)

-
- 教育長 貴重な意見をたくさんいただきました。公正に採択ができますように、委員
の先生ともよろしく願いいたします。
それでは、議案8につきまして、承認します。

議 事 報告事項1 高砂市立図書館名誉館長について

- 事務局 (報告事項1について説明)
- 教育長 何かご意見ありますか。よろしいですか。

議 事 報告事項2 部活動中の事故の状況について

- 事務局 (報告事項2について説明)
- 委員A 今後の対策というのは、ネットをつくるとかだけですか。
- 事務局 今後、練習のときは、バッティングゲージとかを使って、ファールボールが飛び込むのを防ぎます。しかし、試合では、バッティングゲージ等が使えないので、当分の間、鹿島中学校での練習試合は、やめてほしいということ、そしてまた、12月、5月と2回、同じ方向、同じようなところにボールが打ち込まれていて、抜本的な対策としては、10メートル、15メートルの高さの防球フェンスを設置することにより、このようなファールボールが飛び込むのを防止するというふうな形で、6月定例会に防球フェンスの設置費を計上する予定です。
- 委員D 恒久的な対策になるということですか。
- 事務局 はい。高ければ高いほど、防げるというところで、防球フェンスを設置し、恒久的にファールボールの飛び込みの防止を図るということです。
- 委員C 今のところ車で済んでいます。もしも人がいるところに飛び込んでけがをされた場合には、こんなことでは済まないと思いますので、ちょっと大変でも、できるだけことをしていただきたい。子どもたちが野球禁止になるとかわいそうなので、なるべく万全にしていきたいと思います。
- 委員D ここは、こういう試合は絶対やらなくてはいけないグラウンドなんですか。
- 事務局 以前に、中学校の自主校長会のときに、こういう12月の事故がありましたので、できるだけそういう試合するにしても、フェンスがある学校もそうですが、できるだけ試合はやめていただきたいと自主校長会の中でもお願いをしました。しかし、このたびの試合は、従来からずっと固定の学校でやっていて、学校としては、パンフレットもつくり、相手方の学校にも周知していたという中で行ってしまったというところです。
- 教育長 フェンスについては、具体的に図面等ができてからまたお諮りしたいと思います。

議 事 報告事項3 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について

- 事務局 (報告事項3について説明)
- 委員A 12番は、これは何ですか。
- 事務局 タッピングタッチについては、相手の手の触れ方、タッチの仕方でのコミュニ

ケーションというか、お互いの緊張感を取ったりという活動ということです。

○教育長 他にご意見ありますか。なければ次に行きます。

議 事 その他 6月行事予定について

○事務局 (その他について説明)

○教育長 何かご意見ありますか。
なければ、これで教育委員会を閉会します。

平成29年5月25日 午後3時59分 教育長会議の閉会を宣告
